会報 かんゆう 年刊

発行所
関西鍼灸柔整専門学校同窓会
〒558 大阪市住吉区苅田6-18-13
TEL 06－699－2222

印刷所
タカダ印刷　TEL791-0034

形式あらたに61年総会開く！

江坂・サニーストンホテルにおいて

組織名の変更・会則の改正を骨子に

昭和六十一年総会は、会場を江坂のサニーストンホテルに設け、会費制で行った。今回は、関西鍼灸短期大学も含む同窓会として、大きく発展する基礎づくりとしての総会であった。その為に名称の変更、新会則案などが提出された。また、来賓もあらたに川俣短期大学長および堀浩、木村通郎の両教授、そして今年、専門学校校長を退職された上野先生、その他、生駒先生をお迎えした。なお、出席者は、鍼灸按部会会員59名、柔整部会会員93名であった。

従来、総会及び懇親パーティーは、専門学校の校舎をお借りしていたが、今回はサニーストンホテルで、会費制で行った。

総会の前に、同ホテルの富士の間で、関西鍼灸短期大学主催の開学一周年記念学術講演会（案内状は総会通知に同封）が開かれた。

昭和63年には、短期大学より卒業生を迎えることとなるので組織の名称も関西医療学園校友会として活動を行うこととなった。その為に会則改正小委員会によって創案され、会則委員会の承認した会則（案）が提出され、熱心に審議された。一部について意見が出されたが、校友会運用のうえで注意をする、ということで承認された。

その他の案件はスムーズに承認され、ついで懇親パーティーに移った。

パーティーは、プロ歌手による歌謡ショー、「レッツゴー三匹」の長作氏の歌謡ショー、秋田B助氏の小話と進んだ。更にビンゴゲームがはじまると会場は最高に盛り上り、司会者の小気味よい間合の進行で、あるときはシーンと静まり、あるときはドッとどよめいた。ついに一等賞のワープロの当選者が出ると、会場は湧きあふれんばかりの大拍手につつまれた。

幸運の一等賞当選者は中島道正先生（J27B）、二等のポケットテレビは、加納くに子先生（K16）であった。

最後に、学友会リーダー部による応援演武が行われ、無事パーティーは終了した。

ホテルを会場としたのは斬新なおもむきであったが、会場が狭く、また会費制のために受付が混雑したこと、更にパーティーでの音響設備が非常に悪く、折角の演芸も快く楽しめなくて残念であった。

年一回の総会に出席できるのは有難いことである。なつかしい顔を見、また懐旧談に花を咲かし、大いに飲み、久しぶりに楽しい時を過ごした。

最後に、大変なご苦労をされたであろう役員の先生方に感謝致します。

あいさつ

同窓会会長　上原樽助

同窓会の諸先生方には御健勝でご活躍の事と存じ上げます。また、平素は同窓会の発展の為に御協力賜わり有難く厚くお礼を申し上げます。

さて、母校の遠大な懸案であった短大も、会員一人ひとりの絶大なるご支援によって開校二年目を迎え、いよいよ充実ある新たな発展を望む重要な時期に入りました。

この時期、同窓会発足三十周年（六二年度）を迎えるに当り、同窓会も短大を加えることとなり、去る五月十八日の総会の場で承認され、昭和六十二年四月一日付をもって新しく校友会として発足することになりました。そこでこの度、新しい校友会会則の全文を当会報に掲載いたしましたので、御精読の上その主旨を御理解下さい。なお、これまで鍼灸按部会会報にたずさわった発行委員会ならびに会則改正委員会の諸先生方の熱意と努力に心からお礼を申し上げます。

不肖私こと任期終了を半年後にひかえて昭和五十六年三月、望外の会長に就任以来三期六年を経過致しました。その間、同窓会会員の皆様をはじめ、各部会役員の諸先生方の暖かいご指導と限りない友情に支えられ、その都度難関をきりぬけ、どうにか今日まで無事勤めてまいりました。微力ではありますが、余す任期も出来る限り努力いたす決意でありますので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りにのぞみ会員の皆さんにお知らせすることは、三重鎮（上野、滝野、木下文）三先生が退職（昭和六十一年三月三十一日付）されたことです。

四月二十日、三先生の退職記念パーティーが南の料亭で開催され、その席上、不肖私が同窓会会員一同になりかわり、三先生の永年に亘る数々のご功績に対し衷心より敬意と感謝の意を表した次第です。

ご承知の通り、三先生は関西鍼灸柔整専門学校創立以来今日まで「学園の刷新」と「校風の育成」に精力的な活動を行い、今日の母校を築き上げ、学園の向上と発展に大きく貢献なさいました。その中で私たちOBは三先生のきびしく且つ暖かい指導のもとで巣立ち今日斯界で活動しております。私たちは、この偉大な先生方から学んだことを誇りに思い、今後とも益々頑張っていきたいものです。

本校創立以来の重鎮であり、本学の伝統と歴史であります三先生には今後も御健康に留意され、ますます御活躍されんことを期待してやみません。

関西鍼灸柔整専門学校 同窓会役員（昭和61年度）

K：高等科卒
J：柔整科卒
H：本科卒
B：別科卒
数字：卒業期

【本部会役員】

名誉会長	武田 秀孝		幹事	東山 智	J10
会長	上原 樽助	K17・J15	〃	山本 勝行	K19・J22
副会長	岸田 正和	K1	〃	寺内 尚三	K20
〃	村田 忠司	J16	〃	横関 貞克	K10
書記	成山 明一	J15	〃	湯田 昭	H3
〃	菊池 豊	K14・J12	〃	久保井信行	K10・B9
会計	橋本 和夫	J13	〃	武田 良彦	K15・J13
〃	黒岩 共一	K20	〃	北村 智	K4
監査	池田 清芳	J5	〃	森川 和宥	K8
〃	船付喜代一	H4・B5	〃	川本 正純	K18
相談役	永田 満雄	J1	〃	田辺 健三	K16・J19
〃	三木 雅貴	K2	〃	古賀 康成	K16・J19
〃	佐藤 博哉	K8	〃	吉備 登	K16
幹事長	宮本 勝立	J1	〃	左川 清次	K2
幹事	牧野 仁志	K7・J5	〃	中村 了久	K17
〃	奥田 勝彦	K7・J9	〃	山本 博司	K20
〃	宮本 憲典	J8	〃	中村 仁勇	B5
〃	有本 清	J14	〃	松永 松義	H9
〃	中島 竹三	K20・J18	〃	浅井 喜助	H13
〃	西口 誠一	J12	〃	中村 照正	B21
〃	南田 克己	J16	〃	四ケ所正来	H12
〃	渡辺 武夫	J12	〃	端詰 修	K17
〃	福本 賢敬	J15	〃	福西 章	K15・J13
〃	妙中 嘉三		〃	福島 宏	K5

【鍼灸按部会役員】

相談役	三木 雅貴	K2	幹事	北村 智	K4
〃	佐藤 博哉	K8	〃	森川 和宥	K8
〃	船付喜代一	H4・B5	〃	門田 光子	H7
会長	岸田 正和	K1	〃	近藤 守	H4
副会長	湯田 昭	H3	〃	端詰 修	K17
〃	横関 貞克	K10	〃	中村 照正	B21
会計	吉備 登	K16	〃	中村 了久	K17
〃	黒岩 共一	K20	〃	左川 清次	K2
書記	久保井信行	K10・B9	〃	山本 博司	K20
名簿	菊池 豊	K14・J12	〃	山本 隆正	K12
監査	福島 宏	K5	〃	佐竹 栄二	K19
〃	松永 松義	H9	〃	古賀 康成	K16・J19
学術	福西 章	K15・J13	〃	錦織 綾彦	K13
〃	川本 正純	K18	〃	四ケ所正来	H12
会報	田辺 健三	K16・J19	〃	和田 和三	H13
〃	浅井 喜助	H13	〃	古野 忠光	K19
幹事長	武田 良彦	K15・J13	〃	有賀 孝子	B20・H16
幹事	中村 仁勇	B5	〃	佐久間京子	H16

【柔整部会役員】

顧問	永田 満雄	J1	幹事	林 利彦	J13
相談役	吉田 茂	J9	〃	橋本 和夫	J13・2K15
会長	牧野 仁志	J5・K7	〃	村田 景司	J14・2K16
副会長	村田 忠司	J16	〃	福本 賢敬	J15
〃	奥田 勝彦	J9・K7	〃	成山 明一	J15・1K17
書記	山本 勝行	J22・1K19	〃	上原 樽助	J15・2K17
〃	渡辺 武夫	J12	〃	山本 隆正	K15・K12
会計	有本 清	J14	〃	南田 克己	J16
〃	寺内 尚三	J23・1K20	〃	上原 保宣	J17・2K19
監査	山下 富雄	J8	〃	中島 竹三	J18・1K20
〃	吉村 武秀	J12	〃	保坂 勝美	J18・1K20
幹事長	宮本 勝立	J1	〃	品川 善市	J18・2K20
幹事	池田 清芳	J5	〃	前 秀明	J19・2K16
〃	長尾 大蔵	J7	〃	古賀 康成	J19・2K16
〃	宮本 憲典	J8・2K10	〃	田辺 健三	J19・1K16
〃	妙中 嘉三	J10	〃	豊後 勝廣	J20
〃	東山 智	J10	〃	戸村 達公	J20
〃	池田 勉	J10	〃	花田 秀昭	J21
〃	山脇 章	J10	〃	速水 喜弘	J24
〃	西口 誠一	J12	〃	広岡 聡	J25
〃	田中 正之	J12			

昭和60年度事業報告

60・4・13　役員会開催―昭和60年度事業計画および総会準備の為

60・6・16　昭和60年度総会開催―本校講堂において

60・6・29　会則委員会発足

60・7・5　計4回（PM4～7）

12　会則改正小委員会（上原樽助・岸田正和・横関貞克・錦織綾彦・成山明一・武田良彦の6名）を開催し創案の審議を行った。

60・8・31　創案の作成完了

60・10・19　会則委員会会議開催―創案を審議の上、これを原案とした。

61・2・16　役員新年会開催

2月末　桜（苗木）の植樹

61・3・30　役員会開催―昭和61年度総会準備

関西鍼灸柔整専門学校同窓会（本部会）昭和60年度　会計報告

自昭和60年4月1日
至昭和61年3月31日

収入の部 科目	金額(円)	支出の部 科目	金額(円)
前年度繰越金	4,825,261	総会費	627,500
60年度会費		役員会議費	417,360
（専門学校分）	1,030,000	通信費	162,600
（短大分）	1,220,000	事務用品費	43,526
理事長・学長・		慶弔費	14,000
校長より祝金		会長渉外費	100,000
（新年会）	50,000	雑費	46,085
新年会会費	180,000	修繕費	4,080
バザー売上金	32,100	卒業生表彰盾代	30,000
銀行利息	170,976	卒業謝恩会祝金	30,000
		短大学園祭協力金	50,000
		同窓会会則改定委員会費用	300,000
		期末現金有高	5,683,186
合計	7,508,337	合計	7,508,337

昭和61年度事業計画

61・4・19　総会実行委員会開催

61・5・18　昭和61年度総会開催

61年秋　会報発行―従来鍼灸按部会発行のものを本会発行とする。

61年度内　校友会各部会発足（専門学校校友会のみ）

61年度内　学園創立30周年記念事業に協賛

〔例〕役員功労者表彰

関西鍼灸柔整専門学校同窓会（本部会）昭和61年度　予算

自昭和61年4月1日
至昭和62年3月31日

収入の部 科目	金額(円)	支出の部 科目	金額(円)
前年度繰越金	5,683,186	総会費	1,000,000
本年度同窓会費	2,230,000	役員会議費	500,000
総会会費	500,000	通信費	300,000
銀行利息	200,000	事務用品費	50,000
		慶弔費	100,000
		会長渉外費	100,000
		雑費	100,000
		修繕費	20,000
		卒業生表彰盾代	30,000
		短大学園祭協力金	100,000
		専門学校文化祭協力金	100,000
		短大植樹	600,000
		予備費	5,613,186
合計	8,613,186	合計	8,613,186

短大一年目を迎えて

理事長　武田秀孝

従来、鍼灸按部会で発行されておりました会報が、今年度より本部同窓会として柔整部会にも読んでいただけることになりましたことは、何より喜ばしいことであります。

さて学園は短大を開校して二年目に入り、本年も新入生一二六名を加えることができました。専門学校に比べて短大の勉学環境は全てにおいて整備されており、学生も大変熱心に励んでいます。

当地は、泉州沖に開港される国際新空港の着工に向けて熊取においても道路整備等、急ピッチに進んでおり、来年には浪商高校が、六十四年には大阪体育大学が移転することとなり、いよいよ大阪南地区の学園都市として発展することは間違いありません。四、五年もすれば見違える町となるでしょう。

今では学園の樹木もしっかり根をおろし、夏の日ざしを受けて緑一色のすばらしい学校環境をかもしだしております。秋にはまた紅葉によって絶景となるでしょう。同窓会の諸先生方も時間を作って大学に来て下さい。

一年間をふり返るといろいろありましたが、そのうちの一つを報告させていただきます。それは短大付属診療所の佐野栄春先生が大阪大学医学部並びに文部省を通じて大阪船員保険病院長に就任の依頼を受けたことです。これは、本人はもとより学園としても、このような重要なポストに要請されることは大変名誉なことと考え、喜んで就任していただきました。

代って診療所長には前奈良医大学長であり国立奈良病院長でもありました堀法医博に就任していただき、これもまた身に余る名誉と深く喜んでおります。

大学法人または医療系の短大として、このような先生方のお力添を賜ることは本当に光栄であり、私共学園としてもまた鍼灸・按・柔整の今後の発展においても心強い協力者であります。これからの学園の将来計画の実現、並びに確固たる基盤の確保においてもお力を得ることができると夢をふくらませております。

◉昭和61年度
関西鍼灸短期大学入学者状況

▽入学志願者
男子175名、女子45名、計220名
▽入学者
男子100名、女子26名、計126名
▽入学者卒業年度別（高校）
61年3月卒97名（77％）
60年3月卒7名（5・5％）
59年3月卒以前21名（16・5％）
外国の学校卒業1名（1％）
※入学者のうち短大・大学卒業は9名
▽入学者の出身高校所在地
大阪60名、兵庫13名、奈良10名、和歌山7名、京都6名、高知・岡山各4名、三重3名、富山・香川各2名、秋田・千葉・長野・岐阜・静岡・愛知・滋賀・愛媛・福岡・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄各1名、ネパール1名

学園創立記念日10月27日に変更

現在の創立記念日は、関西鍼灸マッサージ専門学校（関西鍼灸柔整専門学校の旧称）が認可された5月14日（昭和32年）となっていますが、このたび、関西鍼灸短期大学設置を機として、新たに法人認可日である10月27日（昭和40年）を創立記念日とすることになりました。

関西鍼灸短期大学 第一回特別講座のお知らせ

謹啓　残暑の候、同窓会会員各位におかれては益々御清祥のことと存じ上げます。平素は、本学のため、多大の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

お蔭様で、本学も昭和六十年四月の開学から二年目を迎え、教育および研究において順調な歩みを続けております。

さて、この度第一回特別講座を別掲プログラムどおり開催することになりました。つきましては、先生方には職務御多用の折柄、恐縮とは存じますが、御臨席いただければ幸いと存じ上げます。

先ずは御案内旁々御挨拶にかえさせていただきます。　敬具

学長　川俣順一

関西鍼灸短期大学第一回特別講座

▽日時＝第1日・昭和61年10月4日(土)14時～17時／第2日・昭和61年10月5日(日)14時～17時
▽会場＝関西鍼灸柔整専門学校新館講堂、大阪市住吉区苅田6－18－13（地下鉄あびこ駅南出口東へ200m）
▽参加資格＝鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師、医師、歯科医師、薬剤師、その他これに準ずる者
▽受講料＝5千円（1日のみ参加の場合3千円）
※（同窓会会員は無料）
▽受講者特典＝本特別講座受講者には終了証書が交付されます
▽申込先＝〒590－04大阪府泉南郡熊取町大字小垣内990、関西鍼灸短期大学庶務課（担当ツキダ）までお申し込み下さい、㊟07245・3・8251、（内）209

プログラム

第1日　10月4日(土)
▽開講の挨拶／関西鍼灸短期大学長＝川俣順一
▽第1部・鍼灸治療と感染症／関西鍼灸短期大学長＝川俣順一
▽ウイルス性肝炎／市立芦屋病院長＝倉堀知弘
▽第2部・上海、北京中医学院訪問記／関西鍼灸短期大学長＝川俣順一
▽閉講の挨拶／関西鍼灸短期大学教授＝木村通郎

第2日　10月5日(日)
▽開講の挨拶／関西鍼灸短期大学長＝川俣順一
▽第1部・鍼灸治療と感染症／関西鍼灸短期大学長＝川俣順一
▽エイズ（AIDS）／国立大阪病院臨床研究部長＝池上信子
▽第2部・上海、北京中医学院訪問記／関西鍼灸短期大学長＝川俣順一
▽閉講の挨拶／関西鍼灸短期大学教授＝木村通郎

頑張るネパール青年

本年四月、関西鍼灸短期大学に私費留学生としてネパール国籍のスシル・サキヤ君が入学しました。

スシル・サキヤ君（27歳）はネパールの首都カトマンズの出身。母国で唯一の国立大学であるトリブヴァン大学薬学科を一九八一年に卒業後、薬剤師として病院に勤務していましたが、二年前、家族の知り合いである関西学院大学非常勤講師のバーナン・スペンサーさんを頼って来日。アルバイトをしながら大阪YMCA専門学校で日本語を学び、受験準備を続けました。

彼を鍼灸の道に駆り立てたのは母国ネパールの医療事情です。医師の数が国民の三万人に一人という極端な不足に加えて薬も高価なため、なかなか入手することが困難というお国柄。そこで、「日本で鍼灸の理論と技術をしっかり学び、母国にも広く普及させたい」という希望を持ったスシル君は、六十一年度の一般入試で約二倍の競争率をくぐり抜けて見事合格しました。一二六名の新入生に混って入学したスシル君は、「授業は日本語、しかも難しい漢字が多いので一日二十四時間では足りないように感じる」と言いつつも級友達に励まされて頑張っています。授業担当の先生方によると、「大変な努力家で、夜遅く、誰もいない教室で熱心に骨標本を観察している姿をしばしば見かける」とのことです。

そんなスシル君ですが、最大の悩みは私費留学生ゆえの経済問題。入学時の学費はボランティアグループの支援を受けて「ネパールフェア」と銘うったバザーを度々開いて何とか確保したものの、現在の生活費は週に数回、玉造の日本ヒマラヤ協会でネパール語を教えて得る五～六万円だけであり、学資はもとより生活も困難という状態です。しかし、そこは頑張り屋の彼のこと、「自分の目標を達成するまでは決して弱音を吐かない」と、小さな体にファイトをみなぎらせています。

同窓会からのお願い

『頑張るネパール青年』の会報掲載を機に、スシル・サキヤ君をはじめとして、同様の境遇にある学生に対し、同窓会としては、今後の針灸の世界的な発展をも考慮して、学資の援助をしたいと考えております。

つきましては、下記の要領にて募金活動を行い援助資金にあてたいと考えますので、宜しく御協力下さいますようお願い申し上げます。（会長　上原樽助）

記

1、募金箱の設置
本会が主催する講演会などに募金箱を設置します。

2、振込口座の設置
振込の場合は、下記の指定口座に振込んで頂きますようお願い致します。
住友銀行天王寺駅前支店　普通
1760811、関西鍼灸柔整専門学校同窓会本部会代表・上原樽助

※募金活動に対するお問い合わせ等は
・関西鍼灸短期大学教務課
㊟07245・3・8251（代）内線213
・関西鍼灸柔整専門学校学務課　㊟06・699・2222（代）

第二回 短大学園祭

関西鍼灸短期大学では本年度も下記日程により、学園祭を開催します。今年は地元熊取町の町制施行三十五周年にあたり、短大ではその企画に協賛するため、学園祭の日程を熊取町主催の記念パレードと施設見学会（学園巡り）に合わせることとなりました。そのため、あいにく専門学校の文化祭と同日程となりましたが、伝統ある専門学校の文化祭同様、短大の学園祭にも是非足をお運びいただきますようご案内申し上げます。

記

▽日程＝11月2日(日)・3日（月・文化の日）
▽場所＝関西鍼灸短期大学
▽企画＝展示・健康診断・講演会・模擬店・コンサート・献血・映画上映等

昭和60年度 鍼灸按部会事業報告（60・4・1～61・3・31）

61・2・16　役員会
60・10・27　総会
60・10・11　会報発行
60・6・16　学術研修会
60・4・13　役員新年会

昭和61年度 鍼灸按部会事業計画（61・4・1～62・3・31）

61年度内
・鍼灸按部会会則の改定
・学術研究会開催
・鍼灸按部会総会開催
62・5

昭和60年度 柔整部会事業報告及び昭和61年度事業計画

一、柔道部への協力

「新経穴学」在庫状況　（昭61．3．31現在）

	入庫	出庫	在庫(冊)
59年度残			141
60年度新入生販売(専門学校)	5/6	33	108
経穴概論担当教員に贈呈(専門学校)	5/6	1	107
緑書房より購入	5/6	21	128
60年度新入生販売(短大)	5/6	125	3
経穴概論担当教員に贈呈(短大)		2	1

関西鍼灸柔整専門学校同窓会（鍼灸按部会）
昭和60年度　会計報告

収入の部 科目	金額(円)	支出の部 科目	金額(円)
前年度繰越金	4,059,435	講習会費	106,000
同窓会費	775,000	通信費	144,000
利息	60,880	印刷費	99,600
新経穴学売上	462,000	事務用品費	20,000
		会長交際費	100,000
		事務連絡費	120,000
		慶弔費	60,000
		役員会費	35,750
		バイト人件費	11,610
		雑費	1,980
		新経穴学支払	44,100
		期末残金	4,614,275
合計	5,357,315	合計	5,357,315

関西鍼灸柔整専門学校同窓会（鍼灸按部会）
昭和61年度　予算

収入の部 科目	金額(円)	支出の部 科目	金額(円)
前年度繰越金	4,614,275	講習会費	200,000
同窓会費	785,000	通信費	150,000
利息	70,000	印刷費	100,000
		事務用品費	30,000
		会長交際費	100,000
		事務連絡費	120,000
		慶弔費	100,000
		役員会議費	100,000
		会則改定委員会費用	200,000
		バイト人件費	50,000
		雑費	50,000
		予備費	4,269,275
合計	5,469,275	合計	5,469,275

関西鍼灸柔整専門学校同窓会（柔整部会）
昭和60年度　会計報告

収入の部 科目	金額(円)	支出の部 科目	金額(円)
前期繰越金	270,532	事務通信費	41,100
同窓会費 (5,000円×70)	350,000	柔道奨励助成金	150,000
利息	3,882	慶弔費	4,000
		短大文化祭寄付金	25,000
		次期繰越金	404,314
合計	624,414	合計	624,414

関西鍼灸柔整専門学校同窓会（柔整部会）
昭和61年度　予算

収入の部 科目	金額(円)	支出の部 科目	金額(円)
前期繰越金	404,314	事務通信費	100,000
同窓会費 (10,000円×66)	660,000	柔道奨励助成金	200,000
利息	5,000	会議費	100,000
		慶弔費	50,000
		研修費	50,000
		予備費	569,314
合計	1,069,314	合計	1,069,314

例年、専門学校では新入生歓迎会、ソフトボール大会、体育祭、文化祭などの学校行事を催しています。本年度も次の通り実施され、また実施を予定しておりますのでお誘い合わせの上多数御参加ください。

◉**学友会総会・新入生歓迎会**　昭和61年5月11日(日)実施（於／本校）

敗者復活戦を含め、熱戦16試合が行われ、鍼灸科3年B組が見事優勝しました。教職員チームも年齢のハンディをのりこえ、3位と健闘しました。

◉**体育祭**　昭和61年10月5日(日)実施予定（於／大泉緑地公園）10時～
ムカデ競走、ちょっとかわった借り物競走など、楽しい競技を考えています。お子様連れで多数御来場ください。

◉**文化祭**　昭和61年11月2日(日)、3日(祝)実施予定（於／本校）10時～
学術講演、鍼供養および模擬店、バザー、もちつきなどを考えています。お子様連れでおいで下さい。

関西鍼灸柔整専門学校
学校行事の報告と案内

学生の趣向を凝らした出し物が楽しい！　今年は子供たち扮する動物も舞台に登場しました。優勝は柔整科2年B組の出し物で、ドラムスを駆使したリズム体操でした。

◉**ソフトボール大会**　昭和61年6月8日(日)実施（於／大阪市立大学グラウンド）

関西鍼灸柔整専門学校教員（昭和61年度）

（柔整科）

役職	氏名
副校長	永田満雄
部長	池田清芳
〃	牧野仁志
主任	奥田勝彦
〃	宮本弘隆
非常勤講師（特別講師）	児島駿
非常勤講師	有本清
〃	今西一
〃	上野勘二
〃	上原保宣
〃	川上城一
〃	菊池豊
〃	古賀康成
〃	長尾大蔵
〃	西口誠一
〃	橋本和夫
〃	花田秀昭
〃	林利彦
〃	保坂勝美
〃	前秀明
〃	政岡利一
〃	村田景司
〃	山下富雄

（鍼灸科）

役職	氏名
校長	武田秀孝
部長	横関貞克
主任	岸田正和
〃	吉備登
〃	山本博司
非常勤講師（特別講師）	生駒栄喜
非常勤講師	榊徳子
〃	長井音次
〃	中村信義
〃	翁祖耀
〃	門田光子
〃	鎌田義一
〃	北村智寛
〃	木下靖
〃	木村喜三郎
〃	久保井信行
〃	左川清次
〃	佐竹栄二
〃	田辺健三
〃	中川几一郎
〃	野田幸司
〃	伴吉信
〃	福西章
〃	船付喜代一
〃	松浦英世
〃	宮脇和人
〃	森川和宥
〃	山本勝行
〃	渡辺剛男

昭和62年度 入学試験案内

鍼灸科：３０名　柔整科：６０名

試験科目		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
国語	漢字の読み書き	9月16日(火)～10月31日(金)（郵送の場合は10月29日消印有効）	11月8日(土)	11月18日頃（郵送）	11月末日頃
生物	理科Ⅰの当該分野を含む				
小論文					
面接					

入学案内書は、切手800円（送料含む）同封のうえ、本学まで。

関西鍼灸柔整専門学校（学務係）
〒558 大阪市住吉区苅田6－18－13　ＴＥＬ(06)699－2222(代)

鍼灸学科：１２０名

区分	試験科目		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
推薦入学	基礎学力調査	国語Ⅰの簡単な問題	11月15日(土)～11月29日(土)（必着）	12月6日(土)	12月13日(土)	12月25日(土)
	小論文					
	面接					
一般入学	理科		1月29日(木)～2月12日(木)（必着）	2月19日(木)	2月26日(木)	3月10日(火)
	外国語	英語Ⅰ				
	小論文					
	面接					

入学案内書は、切手800円（送料含む）同封のうえ、本学まで。

関西鍼灸短期大学（教務課　入試係）
〒590-04 大阪府泉南郡熊取町小垣内990　ＴＥＬ(07245)3－8251(代)

訪中日記

今回の訪中は上海中医学院へ鍼灸研修を目的に行った。

中国鍼灸研修訪中団
団長　佐々木陽明（K25卒）
副団長　増井正典（K27卒）
団員　宮河拓也（K27卒）
〃　島内薫（K27卒）
〃　佐藤妙子（K27卒）
〃　粥川和子（K3C在）
秘書長　中尾光孝（K3E在）

8月5日(火)　大阪港発12時の中国船「鑒真60号」は我々を乗せ、約30分おくれて上海に向かい出発した。メンバーは我々7名の他は四国鍼灸専門学校の方々15名である。出国に先立って、その手続きで列をつくって待ち、船内の食事で又、列をつくって待つといった具合で待つことしばし。船内のふとんは細く幅が約60㎝ほどか？　この中で2日間はつらい。横ゆれが大きいのに海はそれほどの波でない。どうやら船が古く、島内の言によれば「安普請のボロアパートに居る様な……」。まだ、うち海でこれではそと海に出たらどれほどか思いやられ、全員**内関**に皮内針をほどこす。

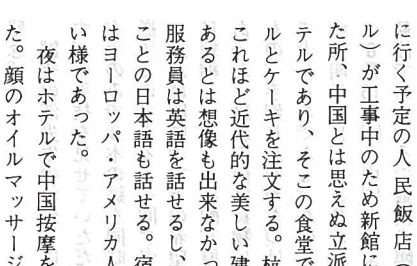
8月6日(水)　そと海に出ているが思いの外静かな海で安心した。昼すぎに四国鍼灸専門学校の方々と交流を持った。関西鍼灸専門学校の55年度本科卒業の中川先生を含む15名で、大半が学生（平均年齢はかなり高い）であった。気功法の解説を求められ増井がその概略を解りやすく説明、興味を持たれた方も多い様であった。交流の後、売店で華佗膏をおみやげに買い求めたが、あまりにも安すぎたため、にせ物ではないかと疑うほどであった。

8月7日(木)　目がさめると海は黄色くなっていた。いよいよ中国大陸へ上陸である。接岸してから船を出るまで約1時間半、上海中医学院の通訳鍾祥華先生が出迎えに来られており、あこがれの学院までバスで約30分、街並は昭和30年代を思わせる雰囲気である。

午後2時より開講式となり、上海中医学院主任教授の黄羨明先生が歓迎の言葉と、学院の歴史を含めた概略を話された。学院は1956年に発足、今年9月に創立30周年を迎える。学部は3つあり、中医学部（修業年限5年）、薬学部（4年）、鍼灸マッサージ学部（5年）、他部としては基礎医学教育部（中医・西医基礎）、研究生研修部（博士・教師コース）がある。学院の卒業生は3600名、1984年には夜間部も発足している。教師は418名おられる。科目は18科目であり、スケールの大きな学院である。鍼灸マッサージ学部は3年生まで基礎理論を学び、4・5年生は各付属病院にて臨床実習をしている。3年生までは大半が寮生活であり、4・5年生は自宅から病院がよいが多い。開講式の後は学院内の歴史館と中薬標本室の見学であった。歴史館では紀元前5000年前の鍼治療に用いた石器や石に刻まれた治療方法、金元時代の四大家の肖像画、はたまた明堂図等々、現存する古書に思わず目をうばわれたほどである。見学を終えて我が団は友誼商店へ直行、初日からおみやげ品の買いあさりである。夕食は東華飯店へ。美人のウエートレスに思わず見とれる我が団員達……ビールの他に満腹するほどの食事とデザート。これでタクシー代を含めて日本円で約1000円とは貨幣価値の違いは大きい。

8月8日(金)　いよいよ臨床実習である。我が団は2班に分かれ増井、中尾、粥川達は瑞金医院（病院）へ。宮河、島内、佐藤、佐々木は岳陽医院へ行く事となった。両院共に上海中医学院の付属病院である。

岳陽医院は外来専門の病院で、通常200～250名の患者が来院するが、夏期は特に患者が多く連日400名ほどであった。当院は中医（東洋医学）を中心に鍼灸科、あん摩科、西洋医科があり、患者の希望により治療を行っている。私達は「外人鍼灸医師治療室」に通されたが院内ではここのみクーラーがある。私達の指導をして下さる浦蘊星先生は岳陽医院の鍼灸科主任であり、上海中医学院臨床研究室の主任でもある。女性ながらも30年のキャリアがあり、中国でも屈指の治療家である。浦先生は我々の治療にも学ばれる姿勢があり、宮河の指圧および島内の脈診にも一つ一つうなづいておられ、その謙虚な態度には私達一同大いにうたれた。中国鍼が初めての私には、鍼の持ち方から刺入方法まで指導して下さり、患者にほどこす所まで細かな配慮をして下さった。顔面神経マヒ、夜尿症および五十肩等様々な患者に接し、浦先生の診断と治療の正確さに舌をまいた次第である。学院にもどってからはビデオで〝中国鍼の使い方〟と〝経路の流注〟を見学し、中国鍼の実習となった。


上海中医学院正門

夜は学院の招待で静安飯店に行き、美味に酔しれ、動くのも大儀なほど食べた。院長の陸先生ともうちとけて話し合い、小さな鍼を通して日中友好と、患者のために生涯をかけることを誓いあった。

8月9日(土)　なんと朝4時起きで杭州へ。通訳の張玉明さんと友誼旅行社の倪さんが同行。四国鍼灸の方々は蘇州へ。列車にゆられること3時間、杭州も人の乗り降りの多い駅である。我先に行く人が多くうっかりすると迷い子になりそうである。駅から西湖の近くにあるホテルへ直行。そこからマイクロバスで霊隠寺へ。この寺はインド僧の慧理によって開山されたもので、大岩に刻まれた石像と、高さ24ｍの黄金の大仏を見学した。そこに居ならぶ仏像の大きさに圧倒される思いであった。買物に行く予定の人民飯店（ホテル）が工事中のため新館に行った所、中国とは思えぬ立派なホテルであり、そこの食堂でビールとケーキを注文する。杭州でこれほど近代的な美しい建物があるとは想像も出来なかった。服務員は英語を話せるし、かたことの日本語も話せる。宿泊客はヨーロッパ・アメリカ人が多い様であった。

夜はホテルで中国按摩を受けた。顔のオイルマッサージから始まり全身治療約30分、今一つ満足出来なかった。

訪中団メンバー

8月10日(日)　杭州は蘇州とならんで、地上の楽園とうたわれた中国有数の景勝地であり、西湖はそのシンボルでもある。きょうはその西湖の船あそびからスタートである。もっとも朝日を見に4時起きのメンバーもいて、仲々のファイトぶりである。手こぎの船二隻による西湖の島めぐりはエンジン付きの船より趣きがあった。岳玉廊、黄龍洞、六和塔とかなり強行スケジュールである。

六和塔は銭塘江北岸に建つ高さ60ｍの塔で、970年より約1000年の間、高潮から町を守り、あるいは灯台としてその役目をはたして来た。外観は8角13層になっているが内部は7階になっており、日本の五重塔と似ている所がある。帰路の列車は一等車でお茶のサービスからはじまり、テーブルクロスやベッドカバーの販売があり、安い安いと我が団は買いたおす。他の乗客までは行きとどかないからおそろしい。日本の単価、ものによっては10分の1ぐらいのものもある。我が団員は一人が買うと次から次へと買うクセがある様である。

8月11日(月)　きょうは浦先生の腕のさえを見ることが出来た。初診の13歳の女子。近視の治療で**承泣**から**下睛明**へ透刺針法を無痛で刺入していくのである。**足三里**の四穴のみで約20分間置針、班全員が中国鍼の実習で一人ひとりが患者にほどこした。

途中、病院長の張天先生が来て

次ページへつづく

関西医療学園校友会会則

第1章　総則

（名称）
第1条　この会は、関西医療学園校友会（以下「本会」という）と称する。

（所在地）
第2条　本会は本部を大阪市住吉区苅田6丁目18番13号関西鍼灸柔整専門学校内に置き、支部を必要な地域に設ける。

（目的）
第3条　本会は会員相互の親睦を図り、併せて関西医療学園の発展のために尽くすことを目的とする。

（事業）
第4条　本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
(1) 会報及び会員名簿等の発行
(2) 会員の懇親及び慶弔
(3) 研修会及び関西医療学園の発展に寄与する事業
(4) その他必要な事業

第2章　会員

（会員の種類）
第5条　本会の会員は次の者とする。
(1) 正会員は関西医療学園が設置する学校を卒業した者
(2) 準会員は前項の学校に在籍する者で会費を納入した者
(3) 特別会員は学園の役員及び職員、並びに本会に特別功労のあった者

（会費納入の義務）
第6条　会員は会費を納入しなければならない。ただし、特別会員はこの限りでない。

（会費）
第7条　会費は次の2種とする。
(1) 終身会費　20,000円
(2) 臨時会費　2回
臨時会費は役員会の承認を得て徴収することができる。

第3章　組織

（構成）
第8条　本会は関西鍼灸柔整専門学校校友会及び関西鍼灸短期大学校友会をもって構成する。
2　関西鍼灸柔整専門学校校友会は、鍼灸按部会と柔整部会で構成する。

（運営）
第9条　前条第1項及び第2項に規定する校友会及び部会は、独自の組織を持ち自主的に運営する。
2　各校友会及び部会は、この会則に準じて会則を定めることができる。

第4章　役員

（役員の名称と定数）
第10条　本会に次の役員を置く。
(1) 会長　1名
(2) 副会長　3名
(3) 理事　30名以内
(4) 代議員　若干名
(5) 監事　3名

役員の任期は2年とする。
2　補欠で選出された役員の任期は前任者の残任期間とする。

（役員の選出）
第11条　役員は正会員の中から選出する。
(1) 会長は代議員会で会員の中から選出する。
(2) 副会長は第8条に規定する各校友会で推薦し、代議員会で選出する。
(3) 理事は会長が副会長に諮り、代議員の中から指名する。
(4) 監事は代議員会で選出する。代議員は第8条に規定する各校友会で選出する。
(5) 役員の任務は次の通りとする。
(1) 会長は会を代表し、すべての事務を統轄する。
(2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
(3) 理事は理事会並びに総務、財務、企画及び広報に関する各種委員会を構成し、会務の円滑な処理を行う。
(4) 代議員は代議員会の構成員として、本会の事業について審議する。
(5) 監事は本会の財務状況を監査し、代議員会で報告する。また理事会及び代議員会に出席し、意見を述べることができる。

（名誉会長及び顧問）
第13条　本会に名誉会長をおく。名誉会長は本学園理事長とする。
2　本会に顧問を若干名おくことができる。顧問は会長の諮問に応じる。

第5章　会議

（会議の種類）
第14条　本会の会議は次の通りとする。
(1) 通常総会
臨時総会
理事会
代議員会
各種委員会
(2) その他
（総会の招集）
第15条　通常総会は毎年1回会長がこれを招集する。ただし、会長が必要と認めたとき、及び会員の3分の1以上の要請があった場合、臨時総会を開くことができる。

（通常総会）
第16条　通常総会には会務を報告しなければならない。

（理事会）
第17条　理事会は会務を執行する。
2　理事会はその運営に必要な規定を別に定めることができる。

（代議員会）
第18条　代議員会は会長が招集しその議長となる。
2　必要なときは会長が副議長を指名する。
3　代議員会は次の事項を審議する。
(1) 会則の変更
(2) 事業計画及び収支予算書
(3) 事業報告、収支決算書及び会計監査報告
(4) 会長及び監事の選出
(5) その他重要事項
4　代議員会の議事は出席代議員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長がこれを決する。ただし、会則の変更は出席代議員の3分の2以上の同意を必要とする。

第6章　会計

（財務）
第19条　本会の財務は会費、臨時会費、寄付金及びその他の収入をもって当てる。

（予算配分）
第20条　各校友会及び部会の配分金は、財務担当理事が理事会に諮り代議員会にて決定する。

（会計報告及び監査）
第21条　監事は財務担当理事から提出された収支決算報告について、年1回以上会計監査を行い、代議員会に報告しその承認を得なければならない。

（会計年度）
第22条　本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

第7章　支部

（支部の設置）
第23条　本会は第2条の規定に基づき支部を設けることができる。
第24条　支部には事務所を設け、支部長ほか役員を置かなければならない。

（支部長の権限）
第25条　支部長は支部を統轄する。

（附則）
第1条　本会則は、昭和62年4月1日から施行する。

昭和61年度　学術研修会のお知らせ

日　時：昭和61年10月26日（日）午後1時開会
会　場：関西鍼灸柔整専門学校　新館講堂（4F）
【講師・演題】
Ⅰ．関節運動学の理論と実技
大阪市立大学附属病院勤務
上田陽之（うえだはるゆき）先生
Ⅱ．疼痛の経絡治療
経絡治療学会会長
岡部素明（おかべそめい）先生
会　費：同窓会会員・在校生は無料
主　催：関西鍼灸柔整専門学校同窓会鍼灸按部会

下さり、我々に親しくあいさつされ、あたたかな励ましと、次回も関西鍼灸から来てほしいと申し出された。

皮内針法の方法について浦先生の要請もあって、シャックリを2週間くり返している80歳の老人の治療に行った。名医の前でいささか緊張したが、知熱感度測定から背部俞穴の調整まですべての治療をやらせていただいた。

午後の講義は舌診である。スライドも良質で舌の形状、舌苔など色調も良く解りやすかった。夜、増井をたずねて気巧の先生が来られ、短時間ながら気の動きを見せて下さった。

8月12日(火)　皮内針をほどこした患者は、恐怖感のために全部ぬいてしまっており、残念ながら成果を上げられなかった。昨日よりは症状としては良くなってはいた。言葉が通訳を通してしか通じないため、こちらの意志が正確に伝わらなかったのが残念であった。

浦先生は卒中後遺症の治療でまたまた中国鍼の妙味を見せて下さった。

患者、女性、47歳。昨年11月に卒中発作を起こしその後遺症として右半身不随、言語不明瞭、右腕伸展不能、屈曲は少々可能、単独での歩行は困難、便秘症で5日に1回。

CT検査結果は脳血栓有り、血圧146－86 mmHgである。舌苔はねばり気のある滑苔である。

浦先生は、治療を重ねても成果の上りにくい患者である事を説明され、次の穴に治療を求められた。

治療経穴。

舌小体への刺入。まったくの無痛である。すぐに抜針。右**太渕**、右**尺沢**（肘関節の伸展運動を他動的に行う）、右**天衝**（筋肉の張力を補う穴）、右**豊隆**の瀉法、**下垂点**（別名**脳清**、**解谿**の上3寸）、右**足三里**、**風池**、**承漿**、右**下関**、右**三間**、右**手三里**より**上廉**への透刺針、右**四瀆**。

以上30分間の置針で10分ごとに1分間250回の旋撚をほどこす。話に聞いていた旋撚術ではあるが実に見事である。遠くで見ると単に鍼にふれている様にしか見えないほど繊細な動きである。

小児のツィナー

脈診の講義の後、学院の配慮で現代中国の音楽会鑑賞に行く。島内はやや下痢ぎみ、粥川は風邪でダウン、全員疲労が出て来ている。

8月13日(水)　上海の現在の人口は1200万人。中医は500人居ると聞く。中国全体の中医学院は20ヵ所で毎年400人が卒業、中等科の学校（専門学校）からは約1万人が卒業しているがまだまだ中医は不足しているとの事。中国の広大な土地から考えればその不足さが解る。中国には国家試験はなく卒業試験がこれに相当する。上海におられる中医は親代々の方が多く、中には〝宋〟の時代より28代中医を継承している医師もいる。

きょうは注文した経穴人形も届き整理をしたが、あまりに数をたのみすぎたか、大きなダンボール箱が2個。10月の文化祭には中国展をやろうと皆張り切っている。

昼休みを利用して四国の有志の方々から皮内針法の講義をたのまれ、約1時間その測定方法から背部俞穴の取り方までの基礎を話し、明日もその実技を行う事となった。途中、中医学院の先生も来られ見学されていたきょうの講義は八綱弁証であったが基礎的な話が多く、いささか物足りない思いであった。

8月14日(木)　中国での研修もいよいよ最後が近づいて来た。中国に来るまでは日が長く、中国に来てからは日のたつのが早い。

午前中の実習では病院内の見学である。ツィナー（按摩科）をたずねた。古来の手法を4つに大別してそれぞれ患者の予約により治療を行っている。一番驚いたのは小児のツィナーで、生後一週間ほどから治療出来るそうで、斜頸や消化不良、夜泣きなど、治療中は気持よさそうにしている赤チャンが多い。女児は右、男児は左手と按腹や捏脊療法などその手技は仲々のものであった。私も、名手といわれる先生のツィナーを受けたがさすがに30年間鍛えあげた腕は我々の比ではない。さすった後の母指でもまれると、摩擦熱が肩に伝わり風呂に入っているがごとくあたたかく柔らかくかつよくきくのである。おかげで肩のこりもスッキリ、時間がなく全身をしてもらえなかったのが残念。

鍼灸の浦先生の治療では又々すごい手技を見せていただいた。右手のみで3本の鍼を同時に旋撚するのである。一同アゼン！

講義は四国の方々の希望で一日短縮し、きょうは配穴原則であった。講義の後は買物に出るもの、手廻り品をかたづける者で大わらわである。たのしい訪中も明日一日、なごりおしい。

8月15日(金)　中国もいよいよ最後である。その最後の臨床に浦先生と共同して喘息患者の治療を受けもった。赤羽測定をして背部の調整、私の配穴に従う浦先生の鍼、いささかおこがましい様である。**喘息俞**、**腎俞**、**太谿**、**内関**など先生と共に中国鍼の治療をさせていただく。背部の硬結がほぐれて行くのを先生と共によろこびあって治療を終えた。

昼食後はみんなで郵便局まで行き船便や飛行便でおみやげを出す。10kgまでが単位であり思いの外送れない。持ち帰るもの数点。なにせ手続きがやっかいで時間もかかり、しかも中国の服務員の人々はあまりいそがない。日本とはかなり隔たりがある様である。帰りは又々友誼商店。今、大阪へ荷物を送ったばかりなのに、おみやげを買うのだから恐ろしい。

夕食はお世話になった先生方に来ていただき、お別れの晩餐会である。四国の団長の後、私が挨拶、院長陸先生の別れの言葉の後、修了証の授与である。団長2名に続いて団員一人ひとりに院長より修了証がわたされ、全員の拍手の中で乾杯となった。余興の一番手に指名され、20年前訪中した折におぼえた中国の歌を披露、我が団員は唄って踊って全員大いに楽しんだ様である。和気あいあいのうちに閉会となり、持ち帰る荷物の整理や最後の中国の夜を楽しむ者、様々にきょうも一日終わろうとしている。

帰国の日となった。大きな荷物や重い荷物それぞれに思い出をつめ込んでの帰国である。佐藤は重すぎて滑車が動かない。金銭感覚が異なりすぎるためつい余分に買いすぎる様である。四国の方々は全員飛行機で出発。私は18日からの仕事のため、ここで我が団員と別れ先に帰国となった。

自転車と人ごみとトロリーバスでにぎわう上海の町、上海でもめずらしい暑さの数日間、心に思い出を刻みつつ我が団員達の見送りを受けて10時に空港へ。残った団員は12時出港の鑒真号で船での帰国である。

約1時間50分で大阪空港へ。やはり早い。ここ数日、日本の生活にとけ込むのに時間がかかりそうである。

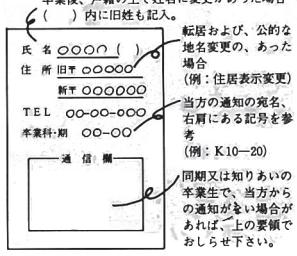
お世話になった上海中医学院、各付属病院の先生方や通訳の先生方、また友誼旅行社の皆さんに厚く御礼申し上げたい。さらに関西鍼灸の諸先生方のあたたかな心づかい。加えて我が団員一人ひとりの努力に感謝の気持でいっぱいである。機会があればまた、中国へ行きたいものである。

再見（ツァイチェン）（さようなら）

（1986・8　佐々木陽明）

住所変更などの連絡はすみやかに！

同窓会事務局では会員名簿を保管し、連絡があれば訂正しています。

年に数回通信文を送付していますが、毎回多数の返却があります。今後も充分なサービスができるよう、変更のある場合はすみやかに御連絡下さい。宛名は機械で印刷していますので重複して届いていることもあるかと思います。そのような場合もお手数ですが経費節減のため御協力下さい。なお、投函前に誤りや簡略がないことをもう一度確認して下さい。

《通知は次の要領で》